

令和4年度第3回宗像市介護保険運営協議会

議事録

日時		令和5年2月16日(木)午後6時30分～午後6時55分
会場		宗像市役所第2委員会室(本館3階)
出席者	委員 (五十音順)	岡山委員【副会長】、鴨川委員、木村委員、坂元委員、関岡委員、中村委員、長谷川委員、花田委員、姫野委員、平田委員、本郷委員、三宅委員【会長】、矢島委員
	事務局	林田健康福祉部長、福嶋介護保険課長、山口高齢者支援課長、花田福祉課長、西川健康課長、副田高齢者サービス係長、山本健康サポート係長、倉富健診係長、浪瀬介護保険係長、安川審査指導係長、大楠介護認定係長、小林介護保険係主任主事
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 諮問 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託事業者について (2) 審議事項 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の概要について 5. その他 6. 閉会

1. 開会

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまより令和4年度、第3回宗像市介護保険運営協議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の進行を担当させていただきます介護保険課の福嶋です。どうぞよろしくお願いいたします。まず、事前に配付しております資料の確認でございますが、資料1「第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の概要」でございます。お手元でございますでしょうか。よろしいでしょうか。本日は新型コロナウイルス感染症予防対策といたしまして、少し窓を開けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。＜1. 開会＞でございます。本日は、藤城委員が1名欠席ということになっております。従いまして、委員の過半数以上のご出席をいただいております。宗像市介護保険運営協議会規則第5条第3項により、定足数を満たしておりますので会議が成立していることをご報告いたします。

次に、議事録署名委員の選任でございます。議事録署名委員は、名簿順によりまして、今回は木村委員になっております。どうぞ、木村委員よろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

【事務局】

続きまして、＜2. 会長挨拶＞。三宅会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

皆様こんばんは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今回

の運営協議会では、第9期の計画策定にあたり諮問とご審議いただきたい項目が1項目、また報告事項が1項目ございます。よろしくお願いいたします。

3.諮問

【事務局】

続きまして、<3. 諮問 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について>でございます。この第9期介護保険事業計画の策定につきましては、介護保険運営協議会に諮問し、答申していただくこととなります。本来であれば、市長が会長に諮問するところでございますが、公務の都合により、本日、市長が欠席のため、副市長から諮問させていただきます。どうぞ三宅会長、ご起立の上、少し前のほうまで出てきていただいてよろしいでしょうか。お願いします。

【副市長】

<諮問書読み上げ>

【事務局】

ありがとうございます。副市長はここで退席させていただきます。

【副市長】

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは、これからの進行につきましては会長にお願いいたします。

4.議題

(1)報告事項

第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託事業者について

【会長】

それでは議題に入ります。<(1) 報告事項 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務委託業者について>。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

介護保険課介護保険係の浪瀬です。よろしくお願いいたします。前回の会議で、計画策定や調査の実施、分析等の業務を専門の調査機関であるコンサル業者に委託するための選定委員会の委員について、岡山副会長を選出していただきました。その後、12月にプロポーザルを実施し、業者が決定しましたので、ご報告します。委託する業者は、株式会社サーベイリサーチセンター九州事務所様となります。本市では、第5期計画を策定する際にも支援していただいております。本日は、業務責任者である堤さんと業務担当者である高根さんに参加していただいておりますので、一言ご挨拶をお願いいたします。

【計画策定業務委託事業者】

皆様こんばんは。株式会社サーベイリサーチセンター九州事務所から参りました。私、担当の高根、こちらが堤でございます。今後ともこの会議に出席させていただきます。計画策定を最後までご支援申し上げたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。今後の会議にも出席していただき、計画策定を進めていきますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

【会長】

事務局から計画策定支援業務委託事業者決定の報告がありました。何か質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

<質疑なし>

【会長】

よろしいでしょうか。それでは、よろしく申し上げます。

(2)審議事項

第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の概要について

次に、＜（2）審議事項 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の概要について＞。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

介護保険課の浪瀬です。よろしくお願いします。お手元の資料1をご覧ください。第9期計画策定の概要について説明します。

まず1ページ目、計画策定の趣旨についてです。日本の総人口については、長期の人口減少過程に入っており、その中で高齢化率は上昇を続け、令和18年には、国民の3人に1人が65歳以上となると見込まれております。介護保険制度においては、このような将来を見据えて、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けられるように、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制である「地域包括ケアシステム」を、各地域の実情に応じて深化・推進していくための取組を進めてきました。宗像市でも、団塊の世代が75歳以上となる令和7年を見据えて、体制整備を進めてまいりました。令和5年度で第8期計画が終了するため、新たに第9期計画を策定します。

次に2ページ目をご覧ください。計画の位置づけについてです。（1）の法的な位置づけにつきましては、「高齢者福祉計画」は、老人福祉法に基づく計画で、地域における高齢者福祉全般に係る計画です。「介護保険事業計画」は、介護保険法に基づく計画で、国の定める基本方針に即して、保険者である市が行う適正な介護サービスの実施量や地域支援事業の事業量、それに基づく介護保険料を算定する計画となります。この二つの計画は、高齢者施策を推進する方向性が同じであるため、一体的に策定することが義務づけられています。

（2）につきましては、本計画と市の上位計画等の関係となります。計画策定にあたっては、国や県の関連計画及び他の行政計画と整合性をとりながら進めていきます。

次に3ページ目をご覧ください。計画期間については、令和6年度から8年度までの3か年計画として策定します。

計画策定の流れについては、フロー図をご覧ください。計画策定の流れとしてはまず、事務局で介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査等の基礎調査や関係団体へのヒアリングを実施し、現状把握や課題の分析を行います。これらの基礎調査や分析結果に基づいて、計画のフレーム、骨子案を整理し、その内容やサービス見込み量、介護保険料について、運営協議会で協議しながら計画策定を進めてまいります。

次に4ページ目をご覧ください。調査の概要についてです。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、課題を特定することを目的に実施します。対象者は、要介護1～5以外の高齢者の中から無作為に6,000人を抽出し、3月に郵送で調査を実施します。調査票は、からだを動かすこと、地域での活動、健康などに関する項目となっており、国が示す基本調査項目にオプション項目と市の独自項目を設けます。調査項目については、現在、庁内及び委託業者とで検討中です。

在宅介護実態調査につきましては、前回の会議でお示しした内容となります。11月21日から訪問調査員による聞き取り調査を実施しており、調査期間は3月31日までとしております。目標件数の600件に満たない場合は、郵送調査を実施する予定です。

事業所調査につきましては、①在宅生活改善調査、②居所変更実態調査、③介護人材実態調査の三つを実施します。①②については、第8期計画策定の際も実施しており、③については、今回が初めての調査となります。①につきましては、在宅での生活維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、不足する介護サービスを検討することを目的とします。②に

つきましては、各施設、居住系サービスの過去1年間の入退去の流れ、退去の理由を把握し、住み慣れた住まいで暮らし続けるための機能を検討することを目的とします。③につきましては、介護人材の実態を把握し、介護現場の人材確保に必要な取組を検討することを目的とします。調査の対象につきましては表のとおりで、4月に郵送で調査を実施します。調査票については、国が提示する調査票に市の独自項目を設けます。この三つの調査項目についても、現在、庁内と委託業者とで検討中です。

最後に5ページ目をご覧ください。今後のスケジュールの案についてです。今回の会議で、計画策定の諮問と概要を説明させていただき、令和5年度に、各種調査の結果報告や計画の骨子案、素案等の具体的な内容を審議していただく予定となっております。従いまして、令和5年度は例年以上に頻繁に開催させていただきこととなっております。令和5年度に6回の開催を予定しておりますが、審査の状況によっては、追加で開催させていただき場合もございますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。事務局からの説明は以上です。

<質疑応答>

【会長】

ありがとうございました。質問やご意見、どなたかございませんでしょうか。

【委員】

説明ありがとうございました。資料4ページの事業所調査で、③の介護人材実態調査は今回初めて行くと説明されましたが、市内介護サービス事業者全数が対象になっていますが、居宅介護支援事業所も含まれる予定でしょうか。

【事務局】

はい。含んで調査させていただき予定となっております。

【委員】

分かりました、ありがとうございます。ケアマネもちょっと今、私の周りでも結構退職される方も増えて、今、なかなか、なり手がいない、受け手がいないというのもよく耳にしますので、調査していただけるということで安心しました。ありがとうございます。

【会長】

ありがとうございます。他にはございませんか。

【委員】

現状、事業所をやっている身なのですが、新型コロナウイルスの影響がどれくらいあったかというのを調査していただければと思います。私の肌感覚では、多分特養はほぼ全ての2年間くらい赤字が続いている状況で、職員の大量離職というのも続いており、正直、介護保険制度の事業がどこまで続けられるかということ、皆さん苦慮されている段階に入っているんじゃないかなという印象を受けております。本来、福祉というのはニーズがあってそれに応える形でサービスを提供するのが当たり前なんですが、どちらかというと、この先10年どこまで福祉という事業を存続できるかというレベルに入ってしまったんじゃないかと思っていますので、どちらかというと、現状の把握をしっかりといただいたほうが、計画を策定するという上では大事なんじゃないかと思っています。先ほどお話がありましたが、ケアマネジャーの数も激減しております。その平均年齢も調べていただきたいと思っています。ほぼ若い方とかいらっしゃいませんで、50代以上の方に今ケアマネをしていただいておりますが、新規ケアマネジャーの資格を取っている方の数から考えれば、10年後、誰もする人はいないと思います。それぐらいの勢いで、介護業界で働く方の数が減っています。福祉の仕事に携わっている人間が言う言葉ではないかもしれませんが、ニーズを答える前に、存続が出来ない、何も応えられなくなってしまうという段階の入り口に立っているというのが、介護業界で働いている方全ての思いですので、この3年間のコロナの影響がどれくらいだったかも含めて調査していただければと思っています。よろしくお願いいたします。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございました。今いただいた意見も含めて調査票を精査して実施してまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【会長】

他にはございませんでしょうか。

【委員】

関連して質問させていただきます。介護人材は、今大学でも学生1人あたりに相当な求人が来るんですけども、やっぱり介護とか福祉とかに従事する、そういう人材が少なくなっているという実態があります。データとして、実態調査でその背景、人材不足の理由とかが分かれば、宗像市の介護人材の確保を、今後どうしていくかという手がある程度打てるのかなと思いましたので、いかがでしょうかというお話です。

【事務局】

ありがとうございます。只今のご意見も踏まえて、調査票を精査して実施してまいりたいと思います。

【会長】

他にはよろしいでしょうか。非常に貴重なご意見が今たくさん出たと思いますので、ぜひこれを参考にしてやっていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

他にないようでしたら次に<5. その他>について、事務局、委員から何かありますでしょうか。

5.その他

【事務局】

介護保険課の浪瀬です。令和5年度の会議から、お茶出しを差し控えさせていただくことになりました。委員の皆様におかれましては大変申し訳ありませんが、水筒もしくはペットボトルをお持ちいただくようお願いいたします。以上です。

【会長】

今日までということですかね。

【事務局】

今日までになります。

【会長】

分かりました。他に何かございませんか。よろしいでしょうか。では事務局からどうぞ。

【事務局】

最後に、今後のスケジュールについてももう一度ご確認及びご説明させていただきます。次回につきましては、お手元の資料の5ページのとおり6月を目途に開催させていただきたいと考えております。その中で、第8期、令和4年度の実績や調査の進捗状況等をその場で報告させていただきたいと考えております。また、事前に皆様には開催のお知らせをさせていただきたいと思います。来年度は、先ほども少しご説明させていただきましたとおり、数多くの開催をさせていただいて、皆様の貴重なご意見等をお伺いしながら進めてまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

6.閉会

【会長】

ありがとうございます。他になければ、これにて閉会といたします。本日は皆様、お疲れさまでした。